

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA



障がい者と共に

生 きる

障がい者と共に

暮 らす

大矢真那による取材

障がい者を応援!

横浜市港南区福祉保健センター ×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

N・フィールド × 布施博

社会福祉法人探訪・1

社会福祉法人あいのかわ福祉会

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size / はじまり」

社会福祉法人探訪・2

社会福祉法人こころみる会

月刊メルディア
VOL.21

TAKE FREE

MELDIA

2019
SEPT. VOL.21

月刊MELDIA VOL.21 2019年7月25日発行(毎月1回25日発行) 第21号 通巻21号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA GROUP

同じ家は、つくらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

25th
ANNIVERSARY

まだ25年、
これからのメルディア

大矢真那による取材



横浜市港南区役所／
横浜市港南区福祉保健センター

「あたたかく見守ってください」という一枚のポスターには障がいへの理解が広がって欲しいとの願いが込められている

神奈川県横浜市



SNSで拡散され、多くのメディアに取り上げられた、1枚のポスターがあります。

「あたたかく見守ってください」と書かれたポスターには発達障がいのある人たちの行動がイラストと簡潔な文章で説明されています。

発達障がいのある人たちの中には、障がいに起因する様々な行動が見られることがあります。こ

れらの行動を周囲の人たちに理解してもらえるようにと作成されたものだといいます。

このポスターを作成した横浜市港南区役所に伺って、制作の経緯や意図、反響などを聞いてきました。





大矢 真那
おおや まさな

情報を得ました。もし、同じようなものを作成して病院の中に置いて貰えば、それを目にした人たちが、障がいによって引き起こされている行動や特性に対しての理解を得られるのではないかと考えました。

竹田 理解が進むことでトラブルの回避にも繋がるはずだとの考えもありました。

大矢 仮に、周囲と違った行動をしている人がいたとしても、「なぜそうなのか?」という理由を予め理解していたら、「迷惑だ」とか、「不快だ」と感じる人が少なくなりそうですよね。

池畑 先例と同じようにパンフレットにする案もありましたが、掲示する場所が病院だということもあって、誰の目にも留まりやすいポスターの方が効果があるだろうと考えました。



内容が誰にでも伝わること それがポスターの持つ役割

大矢 事前に見させて貰っていましたが、改めて見てみるとイラストのタッチも優しい感じだし、短文で書かれた説明も分かりやすく、すごく良く出来たポスターですね。

竹田 ありがとうございます。

大矢 「障がい」に対しての取り組みがきちんとなされている地域だとも感じます。

竹田 港南区では区民の人たちの障がいに対する意識がとても高いですね。町内会の集まりである地区連合では障がいに関する意見交換を自発的に行っていたりで、他と比べて障がいに対する活動が盛んな地域であると思います。

大矢 なるほど。今回このポスターを制作することになった経緯から教えてください。

池畑 港南区内にある障がい者支援団体の人たちから「発達障がいや精神障がいのある人たちが病気になる時に病院に連れて行くことが難しい場合がある」という話を聞いたのがきっかけでした。

大矢 「難しい」というのはどんな部分で?

池畑 病院の中で障がい固有の行動や特性が発露してしまうこともあって、病院に来ている他の人たちに迷惑や不快な思いをさせてしまうかもしれないという懸念があるんだそうです。



障がいへの理解が広がればと 手間を惜しまずに何度も試行

大矢 それで大判のポスターにして、イラストを添えたということなんです。

池畑 そうですね。より多くの人たちの目に留まることを意識して、簡潔で分かりやすい内容にしたかったです。港南区内の障がい者支援団体、医師会、薬剤師会などの人たちの意見を聞きながら、文言や絵のタッチ、色使いや構図など、完成までに何度も試行錯誤を重ねました。多くの人に見て貰えるようにと考えられる限り工夫を凝らしたつもりです。

大矢 ポスターの上部にある「あなたかく見守ってください」という部分がとても好きです。決して押しつけがましくなく、読んだら素直に「協力しよう」と感じる感じになります。使用しているイラストや説明文、ポスターの色味などから何度も推敲をしたんだろうなって良く分かるし、細部にまで配慮を施しているのが伝わってきます。だからこそ、多くのメディアで取り上げられたのだろうし、SNSなどでも拡散されたんでしょうね。



池畑 ありがとうございます。作り手側の意図が伝わっていくことよりも、多くの人たちに障がいに対する理解が広がっていく可能性があること



横浜市港南区福祉保健センター
高齢・障害支援課長 竹田 良雄さん
たけだ よしお

大矢 それで、例えば体調が悪くなったとしても、気兼ねなく病院に行くことができない、一緒に連れて行くことができない場合もあると?

池畑 病院で診察を待っている人は体調を崩していたりすることで、気持ちが悪弱っている場合もありますよね。待合室で静かに順番を待っている人たちが多いのに、障がいのある人たちの中には急に大きな声を上げたり、必要以上に動き回ったりすることもあって、周囲の人たちとトラブルになる可能性が少なくないとも聞きます。

大矢 そうなんですか。

池畑 「何とかが出来ないものか?」という話をしていた頃、関西のある地域で障がいの特性についてを説明したパンフレットを配布しているという



横浜市港南区役所/福祉保健センター
神奈川県横浜市港南区港南四丁目2-10
<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/>



が嬉しいですね。

大矢 制作以降、ポスター掲示後の反響などはどうでしたか?

池畑 より多くの人たちの目に留まるように港南区内にある駅の構内に掲示して頂いたんですね。駅を利用されているとあなたがSNSに投稿してくれたようなんですが、その投稿に対して約7万件もの「いいね」が付きました。

大矢 それはすごい!

池畑 そのお陰で、ネットニュースに始まって、地元誌、その他の各種メディアなどがこのポスターについて取材をして掲載してくれました。それ



一般財団法人メルディア

MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立2周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2019年7月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対するの支援を行っています。



01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにでも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧のうえ、ご応募ください。



ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア
 (英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
 設立者 小池信三
 設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F
 電話 03-5381-3213
 URL <https://meldia.org/>
 MAIL org@gf-meldia.com



MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



障がい者を応援 横浜市港南区福祉保健センター



横浜市港南区福祉保健センター 池畑 和輝さん
高齢・障害支援課 障害支援担当係長 いけはた かずき

大矢 制作に携わった皆さんの「障がいのある人たちへの理解がもっと広がって欲しい」という熱い思いが込められていたからこそその反響だったんですね。

竹田 ポスターの存在がSNSで広まったというのが大きなきっかけになったと思います。拡散してくれた人たちや「いいね」をしてくれた人たちが障がいについて多少なりとも関心を持ってくれたからなんだろうなと想像しますね。



大矢 「まずは関心を持ってもらう」ことが重要ですね。港南区では他にも区民や小学生に向けた講座や講演会などを開催しているというところがあります。

池畑 いろんな催しがありますが、一貫してそこにあるテーマは、「世の中には様々な個性を持った人たちがいるからその多様性を理解してください」ということですね。多様性を理解するという感覚を小学生から持ってもらうことが出来れば、その子らが大きくなる頃には障がいに対する理解が今よりもっと進むはずだと考えています。

大矢 小さい頃から障がいに対する知識を持っていれば、自然に受け入れることが出来るようになるはずですね。

竹田 障がいのある・なしで線引きをするのではなく、それは単なる「個性」なんだという認識が社会に広がって行けば良いと思います。



街で見かけたポスターやSNSで知った情報がきっかけとなって障がいに関心を持つこと。きっと、それが将来「理解」へと繋がるはず。 (大矢)

本誌の編集者が見つけたポスターから端を発した今回の取材。そこに書かれたタイトルはもちろん、使用されているイラスト、説明文、どれもが分かりやすく訴求力が高く、これを行政の人たちが主導して作成したというには驚きました。

今回お話しを聞いた担当者のお二人は異口同音に「SNSへの投稿やネットメディアに掲載されたことで想定していたよりも遥かに多くの人たちの関心を集めることができた」と言います。無関心であるからこそ排他的な考えを持つより、まずは「関心」を持ってもらうことで、いつかはそれが「理解へと進んで行くことだろう」と思いました。

取材/大矢真那

数十年ぶりに退院したものの 住む場所が得られなかった人

布施 こちらでは障がいのある人たちを対象にした訪問看護のサービスと同時に、利用者らの住居の手配も手掛けているとのことですが。

久保 はい。職員の中には看護師や社会福祉士の他に宅地建物取引士の資格を持っている者もいて、「住宅の手配」という形でも支援を行っています。

布施 不動産会社と利用者さんたちとの仲介などを請け負うということですか？

久保 そういこととですね。

布施 どうしてその2つを組み合わせたサービスを提供を始めようと考えたのですか？



CROSS
TALK

そうすると、いざ退院したとしても、既にご家族がいなくてというケースもあるんです。その他には、ご家族が居ても、受け入れを拒否されるというケースも残念ながらあります。

布施 そうすると、退院したものの住む家がない、家を借りるための手続きすら出来ないという可能性もあるわけですね。

久保 その通りです。

布施 「退院しても住む家がない」というケースは少なくないんですか？

久保 無視はできない数だと思えます。それと、国内では精神障がいがある人たちの地域生活への移行支援という取り組みがあり、退院が可能

な人は地域で生活するという傾向にあります。

退院する人の数が増えるにつれ、必然的に退院後の住居の問題も大きくなってきています。

布施 そうだったんですか。

久保 それまで入院をしていた人に限らず、障がいがあるという理由だけで入居を断られてし



N・フィールド×布施博

N.FIELD

東京都新宿区(本社・大阪府大阪市)

精神障がい者への 訪問看護に加え住居の斡旋も行う 長期入院を余儀なくされた患者らの住居問題に着目

株式会社N・フィールドでは精神障がいのある人たち向けの訪問看護ステーションを運営している。200件以上のステーションと、約1000人の看護師・保健福祉士が在籍し、同業界内では断トツの規模を誇る。加えて、同社では精神障がい者に向けた住居紹介サービスも行っている。この2つを組み合わせたサービス事業は、病院の退院後に起こる「住居問題」を解決するべく提供が行われている。障がいのある人たちの地域生活への移行支援に取り組むN・フィールドに布施博が訊いた。



まうケースもあると聞きます。例えば、集合住宅で必要以上に物音を立てて近隣の人たちに迷惑を掛けるのではないかとという憶測が家主の側に働くんだそうです。

布施 難しいところですね。

久保 そこでN・フィールドでは精神疾患のケアに特化した訪問看護ステーションの支援と並行して、障がいのある人たちと不動産会社さんとを仲介するサービスを始めたんです。うちが仲介することで、障がいのある入居者でも訪問看護という形で定期的の様子を見ることが出来ますよね。それが家主さんたちの安心材料にもなり、利用者さんたちの入居までの手続きをスムーズに出来ると思えました。

※編注／記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



布施 定期的に薬を飲むための支援が重要というのはいくつですか。他にも何か通院と合わせてこちらの訪問看護サービスを利用する時の利点がありますか？

押田 精神疾患のケアには看護側と患者さんとの信頼関係が大切です。通院などでの医師の診察はたいして月に数回、1回につき数分くらいですよ。当社が提供している訪問看護の場合は週に数回、1回あたり30分くらい時間があります。そこが大きな利点となると思います。



株式会社 N・フィールド
訪問看護ステーション デューン世田谷
地域医療連携部 / 課長
精神保健福祉士
押田 美和さん
おしだ みわ

株式会社 N・フィールド
代表取締役専務
久保 明さん
くぼ あきら

布施 博
ふせ ひろし

住宅確保が社会復帰の第一歩 当事者とご家族を支援したい

布施 どんな方にN・フィールドを利用して欲しいですか？

久保 精神病院を退院して社会復帰が可能となるはずなのに、いざとなったら住む場所が確保できないという悩みを抱えておられる人たちに利用して貰いたいと思います。訪問看護のサービスさえ受ければ、後は社会で何ら支障なく生活が出来るという人が沢山いるはずなんです。気兼ねなく何でも相談して欲しいと思います。

押田 とある家庭でのお話ですが、ご家族に障がいのある人がいて「介添えやら何やらで気疲れしている時に言い争いになって、つい怒鳴ってしまったことを反省している」という相談を受けたことがあります。この場合は、住む家を分けることで回避できることもあります。別々に住むことで家族同士の関係がむしろ良くなる事もあるようです。悩むことがあったら、拗れる前に相談だけでもして頂けたらと思います。

布施 最後に、これからの展望やサービス展開などについて聞かせてください。

久保 これからも各機関と協働体制を構築しながら活動の規模を今よりもっと拡大していきたいと考えています。それと、精神障がいのある人たちへの正しい理解を、社会に浸透させて行けたら良いと思います。

布施 押田さんは訪問看護の現場で働いておられるんですよね。

押田 そうです。

布施 住居の紹介サービスを利用されるのの中には精神障がいのある人が多いんですか？

押田 大半がそうですね。中でも幻覚や幻聴を訴えることが多いとされる統合失調症の人たちが多くいらっしゃいます。

布施 一人暮らしをしている人が多いですか？

押田 そうですね。一人暮らしが多いです。中には親子で精神疾患があつて、その2人で暮らししているという場合もあります。

布施 入院していた経験がない人でも、ここを利用することが可能なんですか？

押田 精神科での診療を受けている人であれば、通院だけの人も利用可能です。

布施 訪問看護ってというのは自宅を訪問してどんな看護サービスを提供するんですか？

押田 利用者の症状に合わせて各サービスを提供するので内容は様々ですが、どの利用者に対しても共通して重要な仕事は、ご本人が薬を正しく定期的に飲んでいくかの確認です。

布施 そうなんですか。

押田 統合失調症などは治療に時間が掛かることが多い病気のひとつだと言われています。これに罹患している人の多くは長期の服薬が必要になってきます。人によっては、自身に障がいがあると認めたくなくて服用を止めてしまう人もいた



株式会社 N・フィールド 東京支店
東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル38階
TEL / 03-5989-0580
<https://www.nfield.co.jp/>



精神障がいがあるかどうか外見だけでは判断が付きにくい。そのせいで、周囲にいる人たちでも障がいがあることに気付いてあげられない場合も多々あるようだ。

精神障がいのある人たちが症状を克服し、社会に進出する・復帰するためには、「あと一歩だけ支援してあげれば良い」と久保さんは言った。N・フィールドは「あと一歩」を手伝ってあげることが出来る会社だと。

取材では複数の人たちにお話を聞くと、取材できたが、誌面の制約で全員の発言を掲載することが難しい。どの人も「何でも相談して欲しい」と語っていたと記して今回の取材後記とした。

取材 / 布施博



「精神障がい詳しい看護師の数が不足している現状があり、次代の医療人を育てる現場でもこの問題を考えて欲しいと思います」と語る久保さん。

りします。そういう事情もあつて、長期に渡って薬を飲み続けるというのでも簡単な事ではないんですよ。

布施 なるほど。

押田 それと、薬は副作用が出るものもありますからね。症状の重い患者さんが規定量以上を服用してしまう場合も考えられます。訪問看護では、そのようなケアも行っています。

布施 統合失調症って、薬を正しく服用さえしていれば症状をしっかりと抑えられると聞いていますね。その辺りの管理も必要なんですね。

押田 その通りです。

久保 定期的に正しく薬を服用し続けることが出来る人ならば、統合失調症があつても健常者と何ら変わらない生活を送ることが可能だと言われています。きちんと薬を服用できる人であれば、逆に当社のサービスを使う必要が無いとも言えるんですよ。

※編注 / 記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



森清香



**福祉事業所を街中に作る理由
利便性以上に地域交流を意図**

森 なぜここに障がい者施設を作ろうと思ったのか、そのいきさつからお聞きします。

菊地 昔の話ですが、障がい者施設を作るにあたって地元の了承を得られないことがあったんです。それで、郊外や山の中に施設を作らざるを得ないわけで、でも、利用者さんたちって街の中に住んでいる人が大多数なんです。それなのに、施設を利用する度に街中から遠い郊外や不便な山の中まで通わなくちゃならなかったんです。それを解消したいという思いを昔から持って



社会福祉法人あいのかわ福祉会
障害者支援施設 那須共育学園／ワークス共育
ぱん屋さんのカフェ
Honey Bee

栃木県大田原市

栃木県那須塩原市



いました。

森 昔は、今ほど「障がい」に対する認識や理解が進んでいなかったから、分からなかったのは拒絶する」というような意識があったのかもしれませんね。

菊地 利用者さんたちの利便性を考えたのと、障がいのある人たちに「もっと外(社会)に出る機会を作りたい」ということでここに障がい者施設を建設することにしました。

森 近年だと市街地や住宅地に施設を置く福祉事業所も増えて来ていますが、

菊地 障がいのある人たちに「もっと社会の中に出て行って欲しい」と願う前に「施設の側も進んで街の中に進出しなければ」と考えている福祉事業所が増えて来たんでしょう。

青木 この辺りは新興住宅地が多くて、若い世代の人たちが住んでいる割合が高いんです。幹線道路が通っているし、飲食店や商店、大型のホームセンターもあります。一般の人たちと障がいのある人たちが触れ合う機会が多く得られるかもしれないという思いもありました。

森 なぜそこでパン屋さんに併設のカフェを運営しようと思われたのでしょうか？

青木 接客をするにはお客さんとコミュニケーションを取らなくてはなりません。調理補助などもやってもらっているんですが、いずれにせよ多様な作業をしなければならぬわけです。一連のオペレーションを通して色んな経験をしてみたい

たいというのもありました。

菊地 ここに店舗を構えることで、地域の人たちにも障がいのある人たちと触れ合う機会を持つて欲しかったという意味もありますね。

森 同じ敷地内に保育園と学童保育もあって地域に暮らす若い人(親)たちと利用者さんが触れ合う機会も多いと思いますが、

青木 そうですね。保育園にお子さんを送った帰りにパンを買って帰ってくる人や、カフェでお茶をしてから帰宅する人たちもいますね。

菊地 今の若い世代の人たちって、障がいのある人たちと違和感なくコミュニケーションを取れる人が多いような気がするんです。そういう光景を目にする、改めて「ここに施設を作った良かったなあ」と思います。



社会福祉法人あいのかわ福祉会
栃木県大田原市小滝17-18
TEL / 0287-24-2620
http://three-ai.jp/



近年になって社会福祉法人や福祉系NPO法人などの事業所が運営する飲食店が増えて来ているという状況があります。

開業する理由や事情は事業所ごとに異なるのですが、なぜ「飲食店」を選択するのかを以前から疑問に思っていました。

障がいのある人たちを始め、幼児、学童、高齢者など多様な人たちに向けた福祉事業とサービスを展開している「社会福祉法人あいのかわ福祉会／ワークス共育」も飲食店(カフェ)を運営している福祉事業所の一つです。

同法人の菊地達美さんと青木克之さんに、飲食店を運営する意味、市街地に福祉施設を置く理由についてをお聞きしました。

取材&文／森清香



Bread and Cafe
Honey Bee

※編注／記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

何でも自分たちでやってみる マニュアルが存在しない福祉

森 ここで販売しているパンは店舗とは別の場所で作成していると伺いました。

青木 そうなんです。「ワークス共育」の本体(那須塩原市)で焼いていて、ここでは販売のみになっています。

森 開店当初に苦心や苦労されたことなどはお聞かせください。

青木 パンの製造に関して、パンの専門家に技術的な指導をお願いしたわけではないんです。原料を仕入れている製粉会社の人にパンの製造法を教えてもらっただけなんです。

森 えっ!? 本当ですか？

青木 普通にパンを焼くだけなら製粉会社の人から教えて貰う情報だけで誰にでも出来ると思うんですけど、お店(パン屋)ということになると、お客さまに対して魅力や価値を訴求できないと買ってもらえないわけで。こういうパンが売れるだろう、こうすれば美味しくなるだろう、というような試行錯誤は何度も繰り返しました。

森 他の事業所での先例を参考にしたり、専門家に指導して貰ったという話を他では良く耳にしますが。



青木 営業方法や店舗運営に対しても、どこかを真似ただとか、外部の人にアドバイスを貰ったということがないんですよ。



施設で供する食事も自前調達 調理のスキルも入職後に獲得

青木 「何でも自分たちでやってみよう」という部分に言及すると、ワークス共育も、那須共育学園も、利用者に提供している食事は全部、法人の中で作っているんです。

菊地 他の施設だと外部から食事を調達している割合いが8割くらいだと言われていますが、私たちでは全部を自前で用意しています。

森 糧食は外部から調達する方が楽なのではないかと思いますが、それも「自分たちでやってみよう」という考えの一環ですか？

菊地 そうですね。小規模のグループホームだと職員と利用者が一緒に食事を作っているところは多いですが、私たちの法人くらいの規模で食事を自前調達しているという例は他ではあまり聞いたことがありません。

青木 調理職員と栄養士は雇っていますが、外部で調理したものを納入してもらって、それを利用者に提供するというのはしきいではありません。

菊地 調理職員にしても、中には「入職してから調理を覚えた」という人もいますからね。

森 最初から「調理ができる人」という条件で求人するのではないんですか？



日本知的障害者福祉協会 / 理事
社会福祉法人あいのかわ福祉会 / 常務理事
障害者支援施設那須共育学園 / 施設長
菊地 達美さん
きくち たつみ

社会福祉法人あいのかわ福祉会
ワークス共育 / 施設長
青木 克之さん
あおき かつゆき

菊地 昔からそうなんです。私たちが法人では基本的に「自分たちで何でもやる」と考えているんです。施設の運営に関して、これまでに外部の人たちから何かを教えて貰ったという経験がありません。

森 それはなぜですか？

菊地 外部から知恵を借りる、助言を受ける、意見を求める、という方が簡単なはずですよ。敢えてそれをしないのは、果たしてそれらの人が私たちの施設の利用者にある個々の障がいに対して適応できるのか？ という部分が疑問なんです。利用者に近いというか、障がいのことを知っている人がやらないと問題が起こった時に対処ができません。

青木 もちろん、決められたこと、守らねばならない規範だったり、そこは何事もセオリー通りにはやります。でも、そこに利用者の一人一人の状況であったり、事情だったりを織り込みつつカスタマイズしていかなければならないと考えるんです。

森 障がいのある人たち一人一人の状況を知っていれば「先例に倣う」とか「マニュアル通りにやる」というわけにはいかないですね。

菊地 「出来るところまでは自分たちでやってみよう」と思っていることが多いんです。でも、本音では「自分たちだけで何でもやるのには限界がある」というジレンマを職員たちは抱えているかも知れないですが(笑)

森 多くの部分でオリジナリティに溢れているというか、他の福祉施設と違うところが多くて驚いています。最後になりましたが、何かあれば自由にご連絡。

青木 私たちの仕事って、障がいのある人たちが持っている「こういう生き方をしたいのか」「何を求めているのか」という希望を見極めてあげなくてはいいじゃないんです。その希望を叶えるために「どう支援すれば良いかを常に考え続けなければならぬ」と思います。

菊地 障がいのある人は、私たちと比べると圧倒的に社会での経験が少ない。もっと色んなことを体験させてあげたいと思っています。



ばん屋さんのカフェ Honey Bee
栃木県大田原市浅香1-3542-215
TEL / 0287-22-0151
<http://three-ai.jp/honeybee.pdf>



※編注 / 記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



はじまり

水越けいこ連載

21



シンガーソングライター
水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

誕生日旅行のエピソードと息子の葛藤の「はじまり」

ダウン症の息子、麗良(れいら)は、今年の6月に27回目の誕生日を迎える事が出来ました。今年の息子の誕生日が週末に当たるため、「思い出に残るような誕生日にしてあげよう」と、少し前から神奈川県箱根町にある温泉に行こうと考えていました。息子と私、それと私たち親子のことをいつも気に掛けてくれる私の親友との3人旅です。

プライベートで息子と旅行に出るのは久しぶりです。ましてや、息子の誕生日に旅行に出かけるなど、これまでもあまり経験がありませんでした。

都内から箱根へは、大した距離ではありません。それでも、遠くの知らない街に初めて行く時

のような、遠足の前のような高揚した気持ちになっていました。

この旅行を思い付いた時から、行きたいところ、寄りた場所などをあれこれと調べたり、3人で細かく計画を立てるほど、とても楽しみなイベントでした。

ついに旅行の当日を迎えました。道中では日々起きたことや取り留めのない話などを徒然に交わしながら箱根へと向かいました。

多くの話題について言葉を交わす車内で、息子が通っている就労支援センターでの話になりました。基本的にはその作業所が大好きなのだと言いきしながら、「でもね、たまに落ち込んで心が折れることもあるんだと言いました。」「心が折れる」たなんて、とても難しい表現を使った息子の成長を感じながら嬉しくも思いました。私が、「どんな時に心が折れるの?」と聞き返すと、「い

つもより強めに指導や注意をされた時にそう感じる」と答えました。

時には厳しい指導や注意があるのは、どこの「ミニユニ」でも同じです。それをどのように息子に説明するのか考え、慎重に言葉を選びながら「それはね、先生たちが麗良に期待をしているから、上手に仕事が出来ようようになって欲しいからなんだよ」と伝えました。「先生たちは決して麗良を怒っているわけではないんだよ」と、分かりやすく、諭すようにゆっくりと話してあげました。

私には息子がきちんと理解してくれたのかどうかは分かりません。でも、息子は少し考えた後に、「うん。これからは心が折れないように頑張るよ!」と元気に返してくれました。この言葉が一緒に旅行に出掛けたこと以上に、想い出深いエピソードとなりました。

心のアルバムは色褪せない息子と旧友との再会に思う

先に書いたように、息子・麗良は就労支援センターに現在通っています。以前にお世話になっていた福祉事業所でもそうでしたが、特別支援学校高等部を卒業してからの息子は旧友たちと会う機会が少なくなっていました。

ふと、そんなある日、高等部時代の息子の旧友であるT君のお母さんに連絡を取ってみようと思いました。

T君も息子と同じくダウン症があります。お互いに穏やかで割とおっとりとした性格のせいか、二人はとても仲良しでした。

でも、随分と長い間、連絡を取っていません

ものですから突然電話して驚かれるかな?と思っていました。しかし、そんな私の思いは杞憂だったようです。T君のお母さんは私の電話番号をメモリー登録したままだったようで、すぐに私からの電話だと分かったと言います。

彼女は、「ずっと、こちらからも連絡しようと思っていたんですけど、けいこさんはきっと忙しいんだらうなって遠慮していた」のだと言い、「でも、けいこさんとレイくんの様子はブログを拝見していたから何となくは知ってたんです」と、とても嬉しそうに話をしてくれました。

私から、「たまには親子で会いませんか?」と誘ってみると、「うちの子もレイくんに会いたがっている」とも言ってくれて、トントンと話が弾んでゆき、公園でピクニックでもしようということになりました。

ピクニックの当日、息子とT君は再会するなり大喜びで互いにハグをしていました。二人が交わすハグの光景が、まるで映画のワンシーンでも見ているかのように感じました。

思い出話など色んな話をしているとT君が自分のバッグから何かを取り出しました。それは古びた紙製のフォトアルバムでした。

T君はフォトアルバムを一枚また一枚と捲りながら、それらの写真を撮影した時のエピソードを嬉しそうに私たちに話してくれました。

みんなで行った遠足のこと、学校での思い出、そして卒業式のこと。詳細なシチュエーションま

で語ってくれるT君の優れた記憶力と表現力のお陰で、写真の一枚ごとにそのシーンが見事に再現され、頭の片隅に埋もれていた記憶が時を超えて鮮明に蘇るかのようでもありました。息子の様子を伺うと、記憶を手繰りながら、キラキラとした眼差しで嬉しそうに話をしているのが分かりました。

そんな、貴重で得難い時間を過ごしているうち、私はこんなことを考えていました。会えない期間があったとしても、自分の事をずっと大切に思ってくれる人がいる。それに気付いた瞬間、その人は何にも代え難い存在へと昇華し、共に未来へと時間を共有して行きたいと思えるようになるのでしょうか。



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中!





佐井 葡萄の栽培って、草刈り、肥料をあげる、葡萄の笠かけ(※1)、収穫など、どれも大変な作業が多いんですね。作業の度ごとにこんな急な斜面

だと思えます。

森 開墾当時の逸話やココ・ファーム・ワイナリーの事は以前の取材でお聞きしていますので、今回は「こころみる会」と「こころみ学園」のことについてをお聞きしたいと思います。

越知 昔も今も、このワイナリーを支えているのは入所・通所を含めて多くの知的障がいのある人たちだ、ということを知ってもう一つには良い機会だと思えます。

森 「こころみる会」や「こころみ学園」というより「ココ・ファーム・ワイナリー」といえばすぐに分かる読者が多いかもしれません。

越知 国内で開催されたサミットなどでウチのワインが供されたこと、近年、航空会社の国際線機内で提供されるワインとして採用されたせいかワイナリーのことをご存知の人たちが多いと思いますね。

天候も地形も厭わずに農作業周囲に認められる事が原動力



森 平地でやるにしても大変ですよ。彼らを駆り立てる動機とは何だと思えますか？

越知 山の中ですから、暑い日でも風が吹いてくれば涼しくて気持ち良いですし、冬でも斜面は日当たりが良いから結構暖かいですね。外で(自然の中で)作業すること自体に「爽快感」のようなものがあるんでしょう。それを「気持ち良い」と言っている人が多いですね。

佐井 こちらから「これやって、あれやって」と毎回指示をしなくても、自分から進んで作業をやってくれるんですよ。作業が終了すると職員たちが彼らに「すごいね!」「頑張ったね!」「お疲れ様!」って声を掛けるんですけれど、それを聞いた彼らは凄く嬉しそうなんです。「二」「三」しながら「次、何やる?」って返して来るくらいですから。

森 本誌の取材の中で、障がいのある人たちについて、家庭でも社会でも褒められる機会が少なかつたので、「褒めて貰える」、「認めて貰える」とい

を上がったり下りたりしなきゃいけない。それなのに、文句の一つも言わずに黙々と作業をこなしている。いつも「この人たちってすごいな」って尊敬しているんですよ。

PRODUCT OF SUN, SOIL AND SINCERITY
COCO
FARM & WINERY

社会福祉法人こころみる会 指定障害者支援施設こころみ学園 栃木県足利市

青空を背景に急峻な山の斜面には鮮やかな2色の緑が広がっています。周囲の針葉樹の濃い緑、斜面を覆う淡い緑、そして青く晴れた空のコントラストは、構図を計算された絵画のように完璧なバランスでそこに存在しています。平均斜度が38度、最大で42度もあるという岩混じりの斜面全体に植えられている淡い緑はワインの原料となる数種類の葡萄(ぶどう)です。この急斜面で育てられた葡萄たちは葡萄畑の下にある醸造所で品質の高いワインへと生まれ変わっていきます。葡萄畑での作業やワイン醸造には知的障がいのある人たちが多く携わっているといえます。葡萄を育て、ワインを醸す、こころみ学園・こころみる会を取材して来ました。



取材&文/森清香



社会福祉法人こころみる会/指定障害者支援施設こころみ学園
栃木県足利市田島町616
TEL / 0284-41-5039
http://cocoromi.or.jp/



うのをとても嬉しいものではないか? と福祉関連に携わる人たちが言っつのを何度も耳にしました。

佐井 ある入所者で「僕、役に立っているんだよ!」と言っつ人がいるんですよ。東京のサラリーマンの中に、自らこんなことを言える人っていますか? 人の役に立つ、褒められる、というのが彼らの原動力になっているのかもしれないと思わせる言葉ですね。

※1 / 葡萄の実を病害虫や雨水から保護するため紙製の「笠」を掛ける作業のこと。
※編注 / 記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



前職は現在の仕事とは全く関係のないシステムエンジニアとプログラマーだったという佐井さん。創設者・川田氏とのエピソードも多く、「事務員として入職したつもりだったのに農作業から販売まで何でもやらされた」という逸話も語ってくれた。

高齢になった入所者のケアは天寿の全うまでしてあげたい

森 最後に、現在の問題点や将来に向けた課題などがあればお聞かせください。

佐井 現在、入所者が94人、短期入所者が10人前後、グループホームに30人、その他に通所者が15〜16人併せて150人くらいの利用者かいて、常に100人前後がここで暮らしているんですね。高齢の入所者の中には体調が良くない人もいます。その人たちに対してどういうケアをして



社会福祉法人こころみる会
指定障害者支援施設こころみ学園／事務局長
有限会社ココ・ファーム・ワイナリー／総合事業部長
佐井 正治さん
さい まさはる

社会福祉法人こころみる会
指定障害者支援施設こころみ学園／施設長
有限会社ココ・ファーム・ワイナリー／取締役 農場長
越知 眞智子さん
おち まちこ

こころみ学園の創設者・川田昇(かわたのぼる/1920-2010)氏の次女で現施設長。開墾当時の農場の様子や、川田氏と教え子らの苦労や努力を自身の目で見て来た一人。良い意味で「川田イズム」を受け継ぎ、次代に継承していこうと研鑽を重ねている。(越知 眞智子さん)

あげれば良いのかを考えて行かなくてはならないと思っています。

越知 ここを父(創始者の川田氏)が作った頃からの入所者が高齢期に差し掛かっているんです。もちろん、その後に入所して来た若い人たちも、いずれは高齢になるわけで。そついった人たちにどう向き合っていけば良いのかを考えなくちゃならない時期に来ているんだと思いますね。他の高齢者施設に預けることも考えたんですが、障がいがあることで他の人たちと上手くやっていけるのか? って考えたんですね。安心して暮らしていけない可能性があって、結果的に辛い思いをさせてしまうのだとしたら、天寿を全うする日まで出来る限り一緒に暮らしてあげたいと思うんです。

森 いわば「家族」ですもんね。

越知 ここで亡くなった人たちのお墓が敷地内にあるんですね。父もそこに分骨してあるんですけど、ご家族から分骨してもらった遺骨を納骨堂に収めることもあるんです。ご家族にしてみれば「長い間一緒に過ごした皆と眠らせてあげたい」という気持ちもあるのでしょうか。今では30人(柱)以上が一緒に眠っているんですが、血縁だとか何だとかは全然関係なく、ずっと一緒に暮らして、一緒に働いて来た仲間はある意味で家族みたいな感覚になつて来ているようなんです。亡くなってからも一緒に居たら寂しくないだろうかなと思うんです。



ココ・ファーム・ワイナリー
栃木県足利市田島町611
TEL / 0284-42-1194
https://cocowine.com/



下から見上げるだけでも急峻さが一目分かる山の斜面。実際に崖上から下を見れば、足がすくむ程の角度であるといえます。

メディアではワインに関することばかり取り沙汰される事が多いですが、創設者の川田氏が荒れた山を人力だけで開墾しようと思った日から今日のまでの秘話無しでは語れないことの方が多い気がしました。

葡萄の栽培からワインの醸造まで、そして今日に名声と評判を得るまでにどれだけ多くの人たちの苦労があり、そして障がいのある人たちの果てしない努力があったことを知って欲しいと思います。

取材&文/森清香

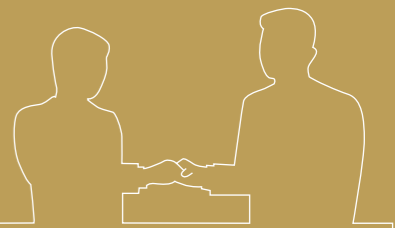


越知 作業が全部終わると「明日も宜しくね」って職員が彼らに声を掛けるんですけど、農作業で疲れているはずなのにすごく嬉しそうなんですよ。期待されているんだ」という自覚を持つて来ているんでしょう。きっとそれが誇りにもなっているんでしょう。

森 知的障がいのある人たちの中には感受性が強くて、他者の感情を鋭く感じる能力に長けた人が多いと聞きます。

越知 ほんの小さな事でも感動できるっていう力が彼らにはありますね。感性がすごく豊かな人たちなんだろうと思います。そういう部分では全く彼らには歯が立ちません。私たちが感動すらしないような些細なことでも、凄く強く感じる事が出来る人たちのだろうと思います。だからこそ、周囲の人が喜んでいるのが分かると思分も嬉しく思つのかもかもしれません。

※2/「軽度知的障害児の安心、自信、自己肯定感の獲得に関する研究」(2008/阿部美穂子・廣瀬真理/富山大学学術情報リポジトリより引用)
※編注/記事中の表現は被取材者の個人的な意見や感想であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



シリーズ 弁護士が教える「障がい者と法律」
障がい者と家族の法律問題
相続されるもの・されないもの



表参道パートナーズ法律事務所
弁護士／安部 晃平

1986年福岡県出身。2012年上智大学法科大学院修了。2013年弁護士登録。2016年より現職にて、中小・ベンチャー企業の労務管理、訴訟を中心に、各種企業法務を取り扱う。表参道パートナーズ法律事務所所属。

相続されるものとは何か？
「相続財産」の適用範囲

これまでは、相続が発生した場合、誰が相続するのか、どのように相続するのかといったお話をしてきました。

今回は、具体的にどのような財産が相続によって相続人に引き継がれるのかというお話をしていきます。

相続によって相続人に引き継がれる財産のことを、相続財産といいます。主な相続財産としては、次のようなものが挙げられます。

1 現金

現金は相続財産として残されることが非常に多い定番のものです。



2 預貯金

引き継ぐ側から見た価値は現金と同じだと思いますが、法的には預貯金は金融機関に対する払戻請求権という権利となりますので、物である現金とは区別されます。

3 不動産

自宅の土地や建物をイメージすると分かりやすいと思います。他には、農地などが相続財産としてよく見られますが、不動産の種類に特に限定はありません。

4 動産

動産とは、不動産以外の物のことです。例えば、自宅の中にある家財や車などが、誰が相続するのかを巡ってよく登場しますが、その価値に関



5 有価証券

有価証券で代表的なものといえば株式（株券）です。他にはゴルフ会員権などが相続財産として登場することがあります。

6 債務

債務とは、誰かに何かをしなければならぬ（多くの場合はお金を支払う）義務のことをいいます。このように、マイナスの財産も相続財産になります。例えば、不動産を相続するケースで、併せて住宅ローンを相続することがあります。また、消費者金融からの借入も相続財産となります。

7 保証債務

債務の中でも保証債務は特別な考慮が必要です。なぜなら、保証人は主たる債務者と個人的な関係があつてこそ保証人となっている場合が多く、相続に馴染まないという側面があるからです。裁判でも、保証期間や保証額に限度が無いケースで相続が否定された例があります。他方で、相続が認められたケースもありますので、ケースバイケースの判断となります。

相続されないものとは何か？
法の適用を受けない「財産」

先に挙げたものとは異なり、相続されないものもあります。次に挙げるように、一般的には相続財産だと思われるかもしれませんが、実は相続財産ではないものがあります。

1 生命保険金

生命保険金は、被相続人が自分自身を保険金受取人に指定していた場合を除いて、保険金受取人と指定された人の財産となります。これは生前贈与や遺贈とは異なるため、基本的に以前お話しした遺留分減殺の対象とはなり

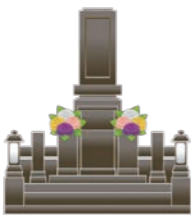


2 死亡退職金

会社から支給される死亡退職金も、生命保険金と同様に、受取人の財産となります。また、遺族年金についても同様です。

3 祭祀財産

祭祀財産とは、家系図や仏壇、墓石などのことを指します。これらは先祖の祭祀を主宰すべき者が承継するとされています。祭祀の主宰者が誰かは、第一に被相続人の指定により、第二に慣習により、第三に家庭裁判所の審判により決まります。



4 遺体・遺骨

埋葬前の遺体・遺骨や埋葬後時間の経っていない遺体・遺骨は、祭祀財産と同様に、先祖の祭祀を主宰すべき者が承継します。埋葬後時間の経った遺体・遺骨は、墓石と一体のものとして、墓石を承継する者が承継するという扱いが相当かと思われ

れます。このように、相続財産になるかどうかは、分かりやすいものからケースバイケースのものまで

法律相談を募集しています

読者の皆さんの「弁護士に相談したい」と、「障がいの当事者または家族であるが弁護士に聞いてみたい」ことなどを法律相談を募集しています。詳細は28ページにある「法律相談募集要項」を参照してください。

なお、相談の内容は、個人が特定できない形で回答とともに記事として掲載させていただく場合があります。また、全ての相談に対して回答できるものではないことを、予めご了承ください。

※本募集は一般財団法人メルディアが行うものであり、表参道パートナーズ法律事務所とは直接の関係はありません。

相続について生前から考えておくのも大切ですよ。



様々なケースです。特に、保証債務については判断がケースバイケースであるうえ、マイナス財産であるため相続放棄するかどうかの判断にも影響してくるかと思われま

す。何が相続財産となるかはよく争いになりま

すので、判断に悩んだ場合はぜひお近くの弁護士に相談してみてください。



履歴書

令和元年7月1日現在



ふりがな 氏名	かしわせ じゅん 柏瀬 旬	ローマ字表記 Jun Kashiwase
昭和55 (1980) 年 8月 26日生	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	

出身地 栃木県足利市	趣味 沖縄離島巡り
---------------	--------------

家族構成 本人、妻、長男、次男	受賞歴など ※コミュニティセンターよこまち名義 平成26年度足利建築景観賞 第6回足利グルメグランプリ・優勝
--------------------	---

役職・公職など ※役職は取材時のものです。

社会福祉法人 渡良瀬会
コミュニティセンターよこまち 管理者 / 相談支援事業 はじめ・すてっぷ 管理者
多機能型事業所 小車 管理者

年	月	学歴・職歴
平成16 (2004)	3	明治学院大学 社会福祉学科卒業
※ ↓		各所のグループホームや障がい者支援施設で夜間勤務 (宿直勤務) を担う
		飲食店などでスタッフとして勤務
		市内の特別支援学級の未設置校で「特別支援教育支援員」として勤務
平成19 (2007)	3	大学時代のゼミの恩師が大学内で障がい者雇用を行うための補助 (補佐) など 渋谷なかよしぐる〜ぶで正職員として勤務 (平成21年3月まで) (現・NPO法人渋谷なかよしぐる〜ぶ)
平成21 (2009)	4	社会福祉法人渡良瀬会 緑ヶ丘育成園に入職
平成26 (2014)	6	社会福祉法人渡良瀬会 コミュニティセンターよこまち 管理者

※期間の重複や時系列の前後などあり

ひと 個人の「歴史」から探る障がい福祉

ひと

パーソナルヒストリー

第3回

社会福祉法人 渡良瀬会
コミュニティセンターよこまち / 管理者

柏瀬 旬さん

PERSONAL HISTORY



新元号は多様性理解の始点に
平成時代に起きた変化と改革

新元号「令和」の出現となった万葉集に収められているのは、広く貴族から庶民までの多様な人たちが詠んだ歌。最初の元号「大化」の制定以来、初めて国書の中から「令和」が選ばれたのは「多様な人たちが詠んだ」という部分にも相応の意味があったのだと思う。

新時代の到来と共に、多様な個性や特徴を有する国民の全てが互いを平等に尊重する意識がノーマライズされた社会の実現を期待するという意味も込められているのだと思います。

改元時に首相が「変化と改革を求められた30年」という言葉で「平成」を表しました。求められた「変化と改革」には国が行う福祉に関する法と制度の整備も含まれています。

近年、国の指揮の下に障がいを取り巻く環境の整備は確実に進んでいます。しかし、「元号が改まったとはいえ、様々な問題や課題の全てが一挙に解決されたわけではありません。

未だ環境整備の途上であった平成の中盤、障がい福祉の世界に飛び込んだのが「コミュニティセンターよこまち」の柏瀬旬さん。

「様々な経験を重ねるうちに障がい福祉に携わる者としての意識が変化した」と語る柏瀬さんの意識に起きた「変化と改革」の履歴を紐解いていきたいと思います。

取材＆文 / 森清香

志しの高さでは叶わないなら
経験や実践では負けたくない

森 小さな頃から「障がいを特別な事とは思っていません」と同じですが。

柏瀬 家族や親族が福祉関連の仕事に携わっていたことで、物心が付いた頃から障がいのある人たちが周囲に多くいました。祖母が自宅で障がいのある人たちに華道を教えてたりもしていたので、障がいのある人たちと触れ合う機会が非常に多かったと思います。だから、障がい「特別な事」だとは思っていませんでした。

森 今のような障がい者福祉の仕事に就くのは必然だったと？

柏瀬 いや、漠然と「きっと将来は福祉関係の仕事をするんだろうな」くらいに思っていた感じでした。明確な目標があって福祉を学ぼうと思っ



募集&告知

各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に向う「訪問先」を募集しています。また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

法律相談を募集 弁護士が相談を承ります

Recruitment

読者の皆さんや障がいの当事者またはご家族の人たちが弁護士に相談したい事、聞いてみたいことなどがありましたら当誌の事務局まで住所、氏名、連絡先、相談概要などをお送りください。本件の法律相談は無料で行います。

【必ずお読みください】

- ※応募に際しての記載事項などは個人情報保護の観点に則り、本件以外には一切使用いたしません。
- ※本誌に掲載させて頂く場合、個人を特定できない匿名の相談内容として記事にいたします。
- ※相談の受任可否についてはお答えすることができません。
- ※全ての相談に対して回答するものではありません。

氏名、連絡先、相談概要などを以下に記載の住所またはメールアドレスまでお送りください。

■応募先/郵送の場合

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/法律相談係 宛て

■応募先/Eメール

MAIL:org@gf-meldia.com
※件名(Subject:)に必ず「法律相談」とご記入ください

月刊MELDIA常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所のご提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

月刊MELDIA定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。お近くに設置拠点がなく入手が困難な場合や、定期購読をご希望の場合に送料無料で発送しています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。

※定期購読の場合、発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼して全国に発送しています。

一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となれることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援（取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付）など、当財団の趣旨にご協力頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷲坂(さぎさか) 宛て
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



一般財団法人
メルディア
Media Foundation

ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん！ Facebook ページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



PERSONAL HISTORY

渡良瀬会/柏瀬旬

PERSONAL HISTORY



進学したわけではなかったんです。森 大学に入って専門的に学んでから何か思うことはありましたか？

柏瀬 入学してから、社会福祉学科で学ぶ同級生の中には、大学に入るまで「障がい」に関わったことが無かった人が大勢いるのが分かったんです。その時に、「なぜこの人たちは自ら進んで社会福祉を学んで将来は福祉関連の仕事に就きたいと思ったのだろう？」と、志望動機を全く理解できませんでした。でも、一緒に勉強をしていくうちに同級生らの心の中に「障がいのある人たちを支援したい」という崇高な動機と高い志があることに気付いたんです。

森 そこから何か心境の変化のようなものがありましたか？

柏瀬 ありました。福祉の仕事をする動機が私とは違う！って。「この人たちの意識の高さには絶対に勝てない！」と思わされました。私の中にあった福祉に対する志の低さに気付いて愕然とした瞬間でもありましたね。

森 その後はどうしたんですか？

柏瀬 意識の高さ、志し度及ばないのであれば、誰よりも現場での経験値を積み上げたい、もっと実践したい、と思うようになりま



取材&文/森清香

カフェの運営も各イベントも障がい者理解を広げるために

森 意識が変わってから何か行動に変化はありましたか？

柏瀬 両親からは「将来は好きな事をやれば良い」とは言われていて、一度も「仕事を継ぐことを」強制されたことはなかったんです。でも、在学中の4年間は入所施設でのアルバイトを続けていましたし、卒業後も福祉に関係する仕事を色々経験する中で、「やはり自分には福祉関係の仕事が合っているんじゃないか？」と思うようになりました。

森 福祉関係の仕事だけではなく、飲食店で働いた経験もあるそうですが。

柏瀬 飲食店の仕事って、お客さんとのコミュニケーション能力というか、接客のスキルが磨かれますよね。飲食店での経験を通して「福祉の仕事にもコミュニケーション能力が活かせるはずだ」と思っただけです。

森 確かにそう思います。このカフェでは飲食を提供する他に、地域の人たちや子どもたちに向けたイベントを年間を通して複数開催しているのですが、それらのイベントを企画する理由は何ですか？



柏瀬 ここでやっているイベントって、全部が障がいのある人たちと地域の子どもたちが触れ合う機会を作る事を目的にしているんですね。「障がい」のことを何も知らない子どもたちが一度でも「障がい」に触れることがあれば、障がいのある人たちに対する理解が少しでも進めば良いなという意図もあります。

森 柏瀬さんが子どもの頃に障がいのある人たちが周囲に居たことで、「障がいを特別なことだと思わなかった」と言いましたが、それらのイベントに参加してくれる子どもたちにも同じような意識を持って欲しいという気持ちがあるわけですか？

柏瀬 その部分が一番大きいと思います。障がいに関する知識を「少しでも持っているか全く持っていないか」で障がいのある人たちを理解するための素地は変わるとは思いますね。



社会福祉法人渡良瀬会
コミュニティセンターよこまち
栃木県足利市葉鹿町735-1
TEL / 0284-63-2300
<http://yokomachi.watarase-kai.jp/web/>





湘南ベルマーレ

ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©湘南ベルマーレ

■ホームゲーム一覧

療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳をお持ち
の方と、介添者の方1
名を湘南ベルマーレの
ホームゲームに抽選で
ご招待いたします！

開催日	キックオフ	対戦相手	申込メ切
8/31 (土)	19:00	浦和 レッズ	8/17 (土)

■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ
必要事項をご入力



応募フォーム
はこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます
財団 メルディア 🔍 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話ください。よろしくお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へチケットを
お送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いた住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO！

チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞ観戦をお楽しみください！



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください



JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先■

〒243-0292 神奈川県横浜市港南区さぎさか
一般財団法人メルディア 事務局 担当：後藤・鷺坂
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

21 | MELDIA CONTENTS 2019 SEPT.

- 01 | 障がい者を応援
横浜市港南区福祉保健センター／神奈川県横浜市
- 06 | 一般財団法人メルディアとは？
メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
- 07 | 布施博が訊く
N・フィールド／東京都新宿区
- 11 | 社会福祉法人探訪・1
社会福祉法人あいのかわ福祉会／栃木県大田原市
- 15 | 水越けいこ連載「M size / はじまり」
水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
- 17 | 社会福祉法人探訪・2
社会福祉法人こころみる会／栃木県足利市
- 21 | つむぐ ～こえをきく～
脚本家・渡邊希望が障がい者や関係者の「声」を聞く
- 23 | 弁護士が教える「障がい者と法律」
表参道パートナーズ法律事務所／弁護士・安部晃平
- 25 | ひと - PERSONAL HISTORY -
社会福祉法人渡良瀬会・柏瀬旬さん
- 28 | 募集と告知
各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

月刊 MELDIA Vol.21 / 2019 年 7 月 25 日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア事務局
 発行人 / 小池信三
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章
 編集集 / 株式会社 サン・オフィス
 編集人 / 東宮恵美
 編集長 / 山口慎市
 進行 / 東宮恵美、山口慎市、谷田貝直介
 編集部 / 東宮恵美、村田保則、渡邊希望
 ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、渡邊希望、森清香、山口慎市
 カメラマン / 工藤裕之 (PMJ)、吉岡晋 (PMJ)
 ヘアメイク / 関谷佳代子 (Dharma)
 デザイン / 有限会社 フレッシュ・アド
 印刷製本 / QREAS 株式会社
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、神奈川県横浜市港南区役所、横浜市港南区福祉保健センター、株式会社 N・フィールド、社会福祉法人あいのかわ福祉会、社会福祉法人同愛会、ワークス共育、ばん屋さんカフェ Honey Bee、社会福祉法人こころみる会、指定障害者支援施設こころみ学園、有限会社ココ・ファーム・ワイナリー、COCO FARM & WINERY、社会福祉法人渡良瀬会、コミュニティーセンターよこまち、表参道パートナーズ法律事務所、株式会社 TDP ミュージックパブリッシャーズ、株式会社 PHOTO MIO JAPAN、株式会社 Dharma

※敬称略/順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2019 © All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア / 月刊 MELDIA
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / 株式会社 サン・オフィス



次号予告

MELDIA VOL.22

2019 年 8 月 25 日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632
東京都新宿区西新宿 1-25-1
新宿センタービル 32F

一般財団法人メルディア 事務局
TEL: 03-5381-3213
MAIL: org@gf-meldia.com

